オンライン開催（Zoom）

農林水産業 DXセミナー

担い手不足に挑む！
デジタル実装が切り拓く
持続可能な地域産業

令和8年11月5日（木） 14:00～16:35

ご希望の方は二次元コードから
アクセスして、お申し込みください。

申込締切：
11月2日（月）17:00

開催プログラム

1	開会挨拶	14:00～14:05〈5分〉	総務省 関東総合通信局 局長 **牛山 智弘**
2	オープニングセッション	14:05～14:10〈5分〉	**農林水産業DXを取り巻く現状と本セミナーの着眼点** モデレーター：KDDI株式会社 地域共創・SX推進本部 地域共創推進部 サブグループリーダー **加藤 英夫** 氏
3	講演〈120分〉	講演① 14:10～14:40〈30分〉	**農林水産業の持続的発展を支える衛星通信・デジタル技術の最新動向** 講師：KDDI株式会社 グロース事業開発本部 グロースビジネス企画1部 グループリーダー **古河 応教** 氏
		講演② 14:40～15:10〈30分〉	**農業分野におけるAI技術の実用化と今後の展開** 講師：国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（NARO） 基盤技術研究本部 農業情報研究センター AI研究推進室長 **杉浦 綾** 氏
		講演③ 15:10～15:40〈30分〉	**洋上通信システムを用いた『海の見える化』による離島沿岸DXの推進** 講師：株式会社MizLinx 取締役 **石川 空** 氏
		講演④ 15:40～15:55〈15分〉	**新たな通信・デジタル技術を活用した地域課題の解決** 講師：総務省情報流通行政局 参事官室 参事官補佐 **澤田 和幸**
		講演⑤ 15:55～16:10〈15分〉	**スマート農業技術の活用について** 講師：農林水産省大臣官房政策課技術政策室 技術企画専門官 **工藤 なつみ** 氏
4	その他	16:10～16:20〈10分〉	**地域課題解決に役立つ技術紹介** 国立研究開発法人 情報通信研究機構（NICT）レジリエントICT研究センター **小幡 利幸** 氏
5	総　括	16:20～16:30〈10分〉	**農林水産業の持続的発展に向けたDXのポイント** モデレーター：KDDI株式会社 地域共創・SX推進本部 地域共創推進部 サブグループリーダー **加藤 英夫** 氏
6	閉会挨拶	16:30～16:35〈5分〉	総務省 関東総合通信局 情報通信部 部長 **松本 修**

主催：関東総合通信局　協力：関東農政局、一般財団法人 全国地域情報化推進協会

講師：プロフィール

加藤 英夫 氏

KDDI株式会社 地域共創・SX推進本部 地域共創推進部
サブグループリーダー

KDDI入社後、東日本大震災をきっかけに復興支援に従事し、仙台市役所、福島県庁への出向を経て、2017年より地域共創に携わる。農林水産業における地域課題に対して、通信技術や生成AIを活用した実証・実装を推進。牡蠣のスマート養殖、丹後とり貝の生育調査、Starlinkを活用した遠隔養殖に取り組む。地域情報化アドバイザー、水産庁スマート水産業現場実装委員。

オープニングセッション 農林水産業DXを取り巻く現状と本セミナーの着眼点

農林水産業では、高齢化や担い手不足への対応、持続可能な事業運営が急務です。本セミナーでは、AI、IoT、ドローン、衛星通信を活用した事例から、現場に根差したDXのポイントを探ります。技術導入を目的化せず、現場に寄り添い、確かな価値を生み出すDXのあり方を考えます。

古河 応教 氏

KDDI株式会社 グロース事業開発本部
グロースビジネス企画1部 グループリーダー

海外駐在経験を経て、帰任後はStarlink衛星通信・ドローンを活用した新規事業開発に従事。Starlink回線を活用した山小屋Wi-FiやフェリーWi-Fi、ドローン事業など社会実装プロジェクトを推進し、構想から事業化・商用化までを一貫してリード。自治体や官公庁、民間企業との共創を通じて、防災や地域課題解決など社会価値創出に取り組む。

講演① 農林水産業の持続的発展を支える衛星通信・デジタル技術の最新動向

人口減少や担い手不足、通信環境が十分でない中山間地域における課題解決に向け、衛星通信（Starlink）、IoT、ドローン等を活用した先進事例をご紹介します。鳥獣被害対策や防災分野を中心に、総務省「地域社会DX推進パッケージ事業」を活用した最先端の実証・社会実装の取り組みについて解説します。

杉浦 綾 氏

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（NARO）
基盤技術研究本部 農業情報研究センター AI研究推進室長

2006年北海道大学大学院博士後期課程修了後、農研機構に採用。九州沖縄農業研究センター、北海道農業研究センター、農林水産省農林水産技術会議事務局を経て、現職。専門は農業機械・農業情報工学。画像認識をはじめとするAI・機械学習技術の農業分野への応用研究に従事。

講演② 農業分野におけるAI技術の実用化と今後の展開

農研機構では、農業分野へのAI・機械学習の応用研究を推進しています。本講演では、画像判別による害虫発生モニタリング、作物病害の自動検出などの研究開発事例を紹介し、農業研究者とAI研究者の連携による現場課題解決と、今後のAI活用を含む展開についてお話しします。

石川 空 氏

株式会社MizLinx 取締役

慶應義塾大学大学院理工学研究科修了。身体支援技術の世界大会「サイバスロン2022電動車いす部門」にて3位入賞。在学中は次世代モビリティのプロダクト開発・オペレーションに従事すると共に株式会社MizLinxのプロダクト開発・製造サポートを担当。大学院修了後、医療・ヘルスケア系IT企業に入社し製薬企業向けマーケティング支援に従事したのち、2024年よりMizLinxにジョイン。慶應義塾大学理工学研究科博士課程在学中。

講演③ 洋上通信システムを用いた『海の見える化』による離島沿岸DXの推進

洋上は通信が届かず、海の課題は見えないまま残されています。本講演では、Wi-Fi HaLow対応の通信専用ブイで海上の通信を延伸し、磯焼け対策・定置網漁・養殖業の省力化につなげた五島市での実証成果を紹介します。海の見える化の可能性と、実装に向けた課題を共有します。

澤田 和幸

総務省情報流通行政局 参事官室 参事官補佐

令和6年に経験者採用により総務省に入省。入省後は通信規格課、地域通信振興課デジタル経済推進室を経て現職。昨年から地域社会DXの先進通信実証事業を担当し、持続可能な地域社会の実現に向けて、デジタル技術を活用した地域課題の解決に取り組む。

講演④ 新たな通信・デジタル技術を活用した地域課題の解決

総務省「地域社会DX推進パッケージ事業」では、APNやHAPS等の先進通信技術を活用した社会実証や通信インフラ整備補助など総合的な支援を実施しています。本講演では、農業・交通・医療・防災など各地域の実証事例を紹介するとともに、事業の概要や申請・活用方法を解説します。地域課題の解決にDXの活用を検討されている方に、ぜひご参加いただきたい内容です。

工藤 なつみ 氏

農林水産省大臣官房政策課技術政策室 技術企画専門官

令和元年に農林水産省に入省。入省後は農産局園芸作物課及び穀物課において、園芸作物や穀物の生産振興に携わり、2026年より大臣官房政策課技術政策室技術企画専門官として、スマート農業をはじめとする農業技術政策の推進を担当。先端技術の社会実装を通じて、農業の持続的な発展と生産現場の課題解決に取り組む。

講演⑤ スマート農業技術の活用について

農業者の減少など農業を取り巻く環境が変化する中、生産性向上を図るため令和6年度に施行された「スマート農業技術活用促進法」をはじめ、スマート農業の推進の背景や最新動向、事例、関連施策について紹介します。

お申し込みは下記URLまたは
二次元コードより参加申込フォームへアクセスいただき、
必要事項を記入の上、お願い致します。
https://forms.gle/hCKU8fcG7LQw48Ux6

申込締切：11月2日（月）17:00

本件に関する問い合わせ先

事務局：株式会社メディア開発綜研
メールアドレス：西川（nishikawa@mdri.co.jp）
電話番号：03-6263-2133

同日開催 総務省・BCG(※)による団体様個別相談会（対面実施） 16:00～17:00

地域社会DX推進パッケージ事業に関する
ご相談にお応えします！

【開催場所】

関東総合通信局 22階TV会議室
〒102-8795 東京都千代田区九段南1-2-1 九段第3合同庁舎

【申込方法】

二次元コード・下記URLから参加フォームを
ご記入ください
https://www.113.vovici.net/se/13B2588B6DBD38BA01

（※）ボストン・コンサルティング・グループは、地域社会DX推進パッケージ事業における総務省の受託事業者です。